

放課後等デイサービスてくてく 自己評価表

	チェック項目	評価		改善目標、工夫している点など
		○(適切)	△(改善必要)	
環境体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。		△	ご利用している方たちが成長しており、年齢層や体格に応じた活動スペースが手狭になってきている。天気の良い日は外遊びと室内遊びに分けて活動しているが天候の悪い時などは密集した状態となってしまうので改善を検討している。
	② 職員の配置数は適切であるか。	○		有資格者(児童指導員等)を適切に配置しています。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	○		必要な場所にスロープ等を設置しています。また、多目的トイレも設置しています。2階建ての事業所となっているため、エレベーターも設置しています。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○		日々、支援員間の共通認識を図るため、週案・月案の振り返りを実施しています。
	⑤ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	○	△	2019年度は新型コロナウイルスの影響により、保護者様へのアンケートを実施することができませんでした。
	⑥ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	-	-	外部からの第三者評価は受けていません。
	⑦ 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	○		法人内部研修及び外部研修への参加を積極的に行なっています。
	⑧ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		今期は2~3月の新型コロナウイルスの影響により、年度末のモニタリングや面談等は電話等での実施となりました。保護者等の同意を得たうえで、計画書の作成を行っています。
適切な支援の提供	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	○		標準化したアセスメントツールを活用しています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		週案、月案等を係分担を明確にしながら立案しています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		△	外出自粛、公園での遊具使用禁止等があり、室内での活動をせざるを得なかったため情勢に合った活動を計画していきます。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか。	○		登校日や休校日、長期休校日の課題設定を分けて考えながら、必要に応じた活動を提供しています。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		お子さんの状況に応じたサービス計画書を策定しています。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○		活動前のミーティングを日々実施しています。
	⑯ 支援終了後には職員間で打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか。	○		活動後に「振り返り」「ヒヤリハット」等について職員間で話し合うようにしています。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		児発管を中心に記録の作成と内容を「見える化」しています。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	○		定期的なモニタリングを実施し、サービス計画の見直しを行なっています。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		指針として示されたガイドラインに沿った支援を行っています。
	関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○	
㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。		○		各学校の教頭先生をキーパーソンとして、学校行事や年間計画等について情報を提供していただいています。
㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。			△	現在、医療的ケア児を受け入れることのできる職員体制、設備等がないため難しいと考えています。
㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。			△	各関係機関との連携が電話等でのかわりがほとんどであったため、詳細なところまでの引き継ぎをうまく進めることができなかった。
㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		ご本人やご家族からのニーズがあれば、必要に応じた情報を提供させていただきます。
㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。		○		新規で利用される方が児童発達支援センター等をご利用している場合は、事業所を訪問させていただき、引き継ぎ等を実施しています。
㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。			△	児童館や放課後児童クラブとの交流については、前向きに検討はしていきたいとかがえているが、どのようなアプローチをしていけばよいか方針が策定されていない。
㉗ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。			△	人員体制が厳しいため、昨年ほど協議会等へ積極的に参加することができなかった。
㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか。		○		定期的な面談や必要に応じた面談等を実施しながら、ご家族とお子さんの発達や成長について情報を共有するようにしています。

	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。	○		保護者様のニーズに添った助言等を必要に応じて行っています。
保護者への説明責任	③0	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		丁寧に説明を行なっています。
	③1	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者様のニーズに添った助言等を必要に応じて行っています。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。		△	長期休校日等を活用して「親子行事」を企画し、保護者様同士の交流を図ることのできる活動を提供しています。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		一つ一つの苦情に対して丁寧な対応をさせていただいています。また、苦情をいただいた際には苦情受付マニュアルに沿った対応を実施しています。
	③4	定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		事業所全体としての広報誌を発刊し、各事業ごとに活動の様子や行事等について情報を発信しています。
	③5	個人情報に十分注意しているか。	○		個人情報保護法及び守秘義務に準じています。
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		情報の伝え方、コミュニケーション方法についてはお子さん及び保護者様に合わせて行うことができるよう職員間で配慮しています。
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業所運営を図っているか。	○		近隣地域や県内の景勝地等へ訪問するなど工夫をこらした活動を提供することができました。
非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	○		重要事項説明を行う際に、各種マニュアルについてご説明をさせていただいております。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		各事業所毎に地震・火災等を想定した定期的な避難、通報訓練を実施しています。年1回は事業所全体での訓練を実施しています。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		全体会議及び児童部門会議等で「虐待」の事例についての学習を行うよう心がけています。
	④1	どのような場合にもやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		現在のところ設問のような事案はありませんが、「やむを得ず～」という事案が発生した場合においては法令遵守という観点からサービス担当者会議等を開催し、組織的にサービス計画を立案していきます。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者様から医師による指示書等のコピーを同意を得ていただくようにしています。また万が一の対処についてもご指導をいただいています。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	○		日々のミーティングで、ヒヤリハットの場面等について振り返りを行ない、怪我及び事故等の防止に努めています。

自己評価策定会議

開催日時： 令和2年3月27日(金) 18:45～19:45

開催場所： 障がい児者サポートセンターととて2階食堂

参加者： 管理者兼児童発達支援管理責任者1名 保育士1名 児童指導員4名

自己評価表作成者： 施設長 小山洋之